

# まちの話題



## 疫病退散祈願の焼酎ショットバー

8/11



大口酒造から疫病退散ショットバー 40本が寄贈されました。

このショットバーは、最古の「焼酎」の文字で有名な郡山八幡神社で疫病退散を祈願されたもので、市役所のほか市内飲食店や銀行等にも無償配布されました。

有満隆明常務は「新型コロナの影響が大きく、みなさん経済的に大変な状況ですが、ご利益をもらってなんとか乗り越えてほしい」と話しました。

このオリジナルショットバーは非売品で、市役所の窓口に展示しています。

## 疫病退散を願い六月燈

7/28



針持の羽神社では恒例の六月燈が行われました。針持・羽月小学校の児童らが作った思い思いの燈籠に灯がともり、にぎやかな声が境内に響き渡りました。

氏子総代会長の山内茂さんによると羽神社は1738年に分祀され、古くは平安時代に遡る由緒ある神社で、「白羽の矢」の羽に語源を持ち三社参りの一つとして参拝客が多いそうです。

少子化で伝統行事が少なくなる中、いつまでも地域行事として守り継いでほしいものです。

## Kids English Summer School

8/4・5



市教育委員会は、夏休み子ども英語教室を開催しました。

小学校3年生から6年生の計41人が参加し、4人のALT（外国語指導助手）と午前中は菱刈庁舎で、午後は大口ふれあいセンターで、コミュニケーション活動や英語を使ったゲームなどを行いました。

小学校の授業を通して、子どもたちも英語をより身近に感じてきています。

12月25日クリスマスに予定している冬休みのWinter Schoolにもぜひご参加ください。

## チーム一丸のボランティア

7/23



鹿児島市の草野球チームのみなさんが、豪雨災害のあった石井自治会の災害復旧ボランティアを行いました。伊佐市在住の高野翔平さんが呼びかけ、8人のチームメイトが駆け付けました。

鹿児島市から参加した橋口徹さんは「想像していたよりひどい状況だと感じました。困ったときは助け合うことが大切なので、少しでも被災された人の力になりたいです」と話し、スコップや重機を使って流入した土砂の搬出や碎石の敷均などの作業を行いました。

## 商工会青年部の結束力！

7/20



豪雨被害があった石井自治会で、伊佐市商工会青年部員がボランティア活動を行いました。地域のために何かしたいという部員からの発案により、14人が参加しました。

部員たちは「商工会の若い力を集結して、被災地の復旧に協力したい」と話しながら、用水路や排水溝の土砂をスコップで取り除きました。

また、商工会加盟店舗にて豪雨災害募金箱を設置して、石井自治会への支援を行いました。

## 南三陸のかまぼこ会社から 支援物資

7/22



宮城県南三陸町の株式会社及善商店から令和2年7月豪雨で被害が大きかった石井自治会に笹かまぼこ480袋の支援物資と、激励のメッセージが届きました。

自治会長の上村広盛さんは「大変ありがたく、とても勇気づけられました。早速、地域みんなに配って食べようと思います」と話し、南三陸からの支援に感謝しました。

## 校庭の樹名板をつくったよ

7/17



羽月西小学校の児童19人が森林環境教育推進事業に係る学習を行いました。

第一工業大学の森田茂さんを講師に招き、校庭にある樹木の名前や特徴について調べた後、40種類の木の名前を書いた樹名板を作りました。

児童は「知らない木が多かったけど、樹名板を目印に全部の木を覚えたい」「ペンキで板に字を書くのが難しかったけど、自分の樹名板の木をととき観察したいと思います」と元気いっぱいに話しました。

## 高齢者おたすけ隊 結成！



針持校区で高齢者おたすけ隊が結成されました。これは、日常生活で困っている校区内の高齢者等を対象として、地域の有志が協力して困りごとを解消する活動です。

8月4日、初めての活動として、おたすけ隊5人が、高齢者宅の庭の草刈りを行いました。依頼者は「自分ではできないことを助けていただき、本当にありがたいです」と感謝しました。

現在隊員は12人で、随時募集しているとのことです。

## 法務大臣感謝状贈呈

7/29



3期9年間、人権擁護委員として、市民の人権擁護と人権思想の普及にご尽力いただいた功績に対し、法務大臣から感謝状が贈られました。

福島 洋子さん（重留西）

## ＊お心遣いに感謝申し上げます＊

8/11



伊佐市民生委員児童委員協議会が令和2年7月豪雨災害の義援金を寄贈されました。

宇都栄一会長は「被害の状況を聞いて、協議会としてできることをしようと思いました。被害にあわれた地域の方々の、一日も早い復旧を願います」と話しました。

## 全国からの温かいご支援

### ○伊佐市災害義援金・寄附金

令和2年7月豪雨災害の復旧費用や被災者支援に充てられます（8月13日時点）

- ・住友金属鉱山株式会社
- ・鹿児島県市議会議長会
- ・伊佐市民生委員児童委員協議会
- ・金光教
- ・大黒寿司（千葉県）
- ・長坂 千穂子さん（千葉県）
- ・小田原 理恵さん（愛知県）
- ・降旗 ユミさん（埼玉県）

### ○ふるさと納税災害支援寄附金

寄附額（8月17日時点）  
346件 301万9,000円

#### 寄附者のみなさんからの応援メッセージ

- 今回豪雨災害大変だったとお察しいたします。ほんのわずかですが、復旧等にご活用いただければ幸いです。
- このたびの豪雨災害では、お見舞い申し上げます。一刻も早い復旧を願っております。

- 伊佐は第二のふるさとです。明光生活6年間、伊佐に育てていただきました。だから恩返しをしたい。この度の豪雨で被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。1日でも早く心晴れる日が訪れますように。
- 豪雨やコロナに負けずみなさま頑張ってください。